

日方川

大樹高校PTAだより

第 129 号

令和3年3月1日発行

発行人 丹羽 和之

編集人 大坂 真紀

三島まゆみ



3年A組

～ご卒業おめでとうございませす～



3年B組

私の高校生活



3 A 川股 夢茄

私の高校生活はとても濃く、三年間とは思えない程あつという間でした。三年生になったから進路活動が本格的に始まり、精神的にも肉体的にも忙しかったですが、友人たちとたくさん笑って過ごしている毎日が本当に楽しく幸せでした。台湾への見学旅行や日高での宿泊研修、学校祭や合唱祭などの様々な行事で友人たちと作る事ができた大切な思い出を胸に、卒業してからも頑張りたいと思います。大樹高校で充実した時間を過ごせて本当に良かったです。

卒業を迎えて



3 B 石橋 亜美

高校生活はあつという間に終わってしまいました。三年間どの年も濃かったです。その上になんか皆さんの支えられられました。入学当初の頃はあまり親しくなかった友人とも今では濃密な関係になり、周りの友人とも楽しく思い出深い日常を送ることができました。これからはみんなそれぞれ道を歩んでいきます。時には、人生行き詰まることもあるかもしれませんが、温かい目で見守ってください。四月からも気持ちを新たに頑張りたいと思います。三年間ありがとうございました。

出上がった「よせな」は絶品



3 A 担任 森 志美江

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、この日を迎えられることに心より御祝い申し上げます。この一年はコロナ禍があり、計画通りに進まないことが多く、不安や不満を抱きながらもその時にできる最大のパフォーマンスを発揮してくれたと思っています。A組はそれぞれの具材の持ち味がバランスよく混ざり合う「よせなべ」を学級通信のタイトルに設定し、学級経営の目標としました。担任付けが決められないことも少なくありませんでしたが、改めて振り返ってみると楽しく思い出し(旨味調味料)ばかりが魅

卒業に寄せて



3 B 担任 細野 朋子

三年前、四十八名の生徒とともに新しいスタートを切りました。本校勤務が十五年にも上るなかで、大樹高校では初の担任となりました。毎日が変化に富み、一人一人の思いや感情、考え方の変化が成長として直結しているの肌で感じることができました。特に行事は一つ一つ大きな思い出もあり、かけがえない思い出となつていきます。一年生の学校祭では、初めてのこの日もあり一番のネックはミニメント製作でした。大きな板状の発泡スチロールを購入し、「ミニメントを作る」とのこと。円柱...。どうなるかと思いましたが、延々と根気よく作業をし、何かの間違ひかどうかはわかりませんが、一位をとってしまいました。おかげで二年生も発泡スチロールから始まることになりました。しかも、課題はそこではなく、今年度はこだわりの衣装部門でした。「進撃の巨人」をテーマに掲げ、他クラスを売りに入ることでも、より正確性を求めました。兵士の衣装の背中にやたらと精密な模様を付けていること。一人当たり三十パーセント。本番は明日。男女関係なくクラス総出で内職が始まりました。型紙通りに裁断する者ひたすら縫い付けをする者目に見えました。そして三年生。だれも経験したことのない大きな壁や障害があっても、前を向き続けられない強さを身につけてくれました。行事は形を変えながらも実施でき、持ち前のパタリティを活かした最後の締めくくりの年となつたと思っています。行事だけでなくすべての経験を毎日に気づけば彼らは随分大人になつてしまっています。いつのまにか私を追い越して。保護者の皆様にはこれまで、各御家庭で本当に丁寧に支えていただき、心より感謝申し上げます。そしてこれからさらなる子どもたちの活躍を期待し、卒業に寄せる言葉とします。卒業おめでとう。そして三年間本当にありがとうございました。

